



### 大政翼賛運動に同志結成の協議會

#### 明廿二日福島無盡樓上にて

新体制に即應する一億一心の奮闘運動は去る十三日全國民衆運動會に於て、同志結成の協議會が、明廿二日午後六時半から市内紺屋町無盡樓上にて同志結成の發起人會を開催することに決した。▲大森勇、藤田榮助、牛谷政喜、多田井笑次郎、後藤桂仙、山崎忠兵衛、大嶺康の諸氏

### 地元負擔十萬圓で中の作の暗礁除去

#### 岸壁に整ふ魚市場に五萬圓 字折戸とガツチリ提携

江名町中の作漁港の船着場は、市内中央に残る暗礁のため折戸、中の作兩地の漁船を自ら二つに分けて市場の如き各漁区に當りては、統制上好ましくないばかりでなく、兎角對立の姿さへある。これを除去し、やう計畫は本年六月頃から唱へられてゐたが、今回急ぎ施行に決し、地元全額負擔十萬圓を以て同岸壁を築き、一萬平米の暗礁區域を干満面三米深の港となし、且つ港内入口から波浪を除くため八十米の入口口を五十米につめて波返し防波堤延長五十米を築設し折戸、中の作兩所の船着岸壁に八百八十坪の埋立を行ひ正面の魚市場に倉庫、貯水庫、事務所

### 委員の調査

大瀧發電の設置に對する平市委員の慎重なる調査は既報の如く、同市上水道水源と殆んど條件を同じくする岩手縣盛岡市上水道に於ける東北振興

電の水力發電所を視察し好資料を得たる同委員は更に調査研究を添えるため来る二十三日、四日頃かつて心組んで来た商工省に川口技師をたづね將來にあやまらざる教を請ふことになつた

### 貴議員と代議士の慶祝招待座談會

#### 來る十一月五日平市に於て 今日發起人の打合せ會

石城郡及び平市左記有志は同地方關係から舊平藩主安藤子爵、泉澤主本多子爵、諸橋久太郎三氏の貴族院議員並びに星一、比佐昌平兩代議士を出だして、前記五氏の慶祝招待會を來る十一月五日平市に於て開催の筈であるが、當日記五氏を圍む時局座談會をも催すことになつてをり此の準備につき、十一月一日市内マルトモに發起人會を開いた。▲安藤子爵、諸橋久太郎、佐々木龍若、本多子爵、小林誠次、本多忠明、比佐代議士、諸橋貴族院側山崎三郎、木村清治、星代議士、大森勇、木村守江、星友太郎氏等

### 支那民衆を見て 日本人の幸福感

#### 石城郡鹿島村出身 黒木房平

拜啓、此度は慰問袋多々の御恩賜に預り、難有厚く御申上ます。聖戦四ヶ年何時も憂れぬ戦後皆様の温い御心遣しの程身も感謝して居ります。出征以來三ヶ年を越しましたが、尚ほ御奉公の足らぬ事を感して居ります。國內新体制樹立、皇軍佛印進駐、日獨伊三國同盟と近衛内閣の内外、施政

早く自白しろと云ふら、快招でカイブアオレン、でないし銃殺をすればと云ふ、藤さんの考へか、は眞實を言へばと云ふ、を偽り言つてニエケン、シヨウシ、ホアと云

### 競技大會

女子平、男品川優勝

既報健康保險課主催の同被保者陸上競技大會は、昨日二十日午前八時から警中グラウンドに於て開催。山下八百八日午前十時から警中グラウンドに於て開催。山下八百八日午前十時から警中グラウンドに於て開催。

### 新体制 時局講演會

東京日日主催新体制時局講演會は、昨日二十四日午後六時から、本市公會堂に於て開催される。講師は同社東亞部部長長田中香苗、政治部記者引地壽の両氏で、同講演に先き立つ午後三時から同所に於て前記兩氏を中心に市内有志との時局に關する座談會を開催する。

### 泉村の汲深館

青年の修養道場

石城郡泉村では、中堅青年養成のため、今年新築期から舊藩時代の講堂汲深館を復活その名を冠して青年校生百廿餘名を四班に分けて、收容し左記の修養道場に於て、あるが、青年校の正課以外に行はれてゐるのは、縣下最初のもので、神保田三敏歩と加六反歩の耕作は生徒の集團勤勞で、良成績をあげ陸稲五畝歩の豐作にホク／＼してゐる。

### 磐女軍優勝

磐城高女では、昨日二十日東紡

### 健康主催の 競技大會

女子平、男品川優勝

### 慰問袋と稻刈

好間の日曹で

### 平クラブ優勝

軟球協會の庭球戦

### 見た日本人

北京より H 生

### 河中で心臓麻痺

石城郡好間村の下好間鐵工

山崎から指導をうけ理事長以下、役員選舉及び事業について附議する。◆内郷、好間、赤井、澤渡、神谷、草野、夏井、飯野、豊間、鹿島以上

石城郡好間村の日曹、健康奉公會では、此ほど活動資金造成に映畫會を開催、四百餘圓の益金を得て、村内出身第一線の勇士へ贈る慰問袋を作製中だが、同鐵工班では、昔刈鎌三百十挺を買ひ求め、職員代々の勤勞奉仕で、戦地へ軍馬の干草や出征家族の稻刈手傳へをなしてゐる。

磐城軟球協會主催の庭球大會は、昨日二十日警中コートに於て開催、三十八組の出場に合戦の結果、平クラブ大内、根本組優勝した。尚ほ同試合に先き立つ、本市の根本武雄氏は、地方球界の功勞者として、同協會及び高月會から感謝狀に記念品を添えて表彰された。

懐る手の謎、日本女性のキチンとした和服姿に對して、北京人は、もはや奇異の眼をみはらないのみか、次第にその優美さに或る理解さへもち始めた。最初日本女性の姿が背中大きく太鼓の様に、あるのは謎だつたのと、島田雷の類を見て、あれは何んだらうと、中国人等には不思議に思つたのだが、

日本男性の和服姿、殊に懐る手で、兩方の袂を旗のよう、に風に翻してゐる恰好には、頭を傾け「なにか大事のもの、を御大事に持つてゐるんだらう」と不思議がつてゐる、この謎だけは、中国人にはまだ解けないやうだ。

新製ダイヤペン付 ウェル萬年筆 二〇〇以上

魁文堂 電話三三三



新製ダイヤペン付 ウェル萬年筆 二〇〇以上

河中で心臓麻痺 石城郡好間村の下好間鐵工

見た日本人 北京より H 生

# 農業

## 緑肥に對する

### 再認識 (中)

東京高等蚕糸校 教授 吉田誠哉

▲自給肥料としての緑肥の特異性、元來緑肥は堆肥とは根本觀念において或程度相違してゐるのであつて、堆肥は主として有機物の施與徒として肥料成分、特に加里並に窒素、燐酸等を供給するものであり、従つて炭素率も窒素比價を起さざる程度までとし通常一五見當を目標としてゐるのである、しかるに緑肥は、

(イ) 窒素肥料の一部として施し(ロ)同時に加里及び少量ながら燐酸を與へ(これ以後に問題として語りた)から理由は省略する(ハ)更に有機物の施與を兼ねてゐるのである、

要するに目的の第一は窒素の速効的利用である筈である、特にこれは非常時で窒素肥料の欠乏せる折柄最も考慮すべき點である、

しかるに多くは、この點を混同し、二兎を追ふか、或は反對に利用價値の大小よりは收穫をもちよすことによる收穫の増加を圖るために、却つて目的に反する結果を見ることが多い状態である、即ち緑肥は炭素率において堆肥の一五目標とは異なり、一五以下出來れば、一〇乃至一二程度を標準とすべきものと私は考へてゐる、なほ緑肥は自然緑肥と栽培緑肥とを區別せずまた水田と畑地の區別を考へる人が少く、結局合理的の利用方法が不徹底であつたと云へ

るのである、また栽培においても緑肥の栽培は堆肥からといふことを考へ、これを主張した實行してゐる人は比較的に少ないのであるが、これも緑肥の栽培利用が普及しなす理由の一つである、

## 十月十七日 上映

松竹大船が現代の結婚観の一面を抽出し若い人々に贈る問題作大船の誇る新しき三大ホープ、  
横美佐子、原玉一郎、三村秀子、加藤夕未子、其他老練熟達者の陣役を得て繰る繊細巧緻の描寫

結婚の價値  
お待たせの巨作映画  
廣澤虎造、片岡千恵藏主演  
續 清水港

今週のお楽しみは此一篇で充分です、映画界、演劇界、ロード界の人氣スターが珍趣向盛澤山で大競演  
松竹京都時代劇  
高田浩吉主演、最上米子、光川京子、  
浩吉歌双六  
映畫界の寵兒浩吉が今迄限つた歌謡曲を全部皆様のお耳に入れ様と大馬力、  
日本ニュース十七時  
毎日正午 觀覽料 大五〇 小一五  
より開館

松竹直營 平館

附屬産院 新設  
妊産婦入院隨意  
産科 婦人科  
**木村病院**  
平市 新川町  
電話 一六四番

カバと洋品類  
  
眞砂屋 (前驛、市平) 新道通  
(電話五六)

内科、小兒科、外科、花柳病科、耳鼻咽喉科、レントゲン科  
平市田町 電話二一三番  
**高久病院**  
院長 醫學士 高久忠

大小の御宴會にホール  
御家族の御同伴に御座敷  
いつも材料を吟味して居ります  
**マルトモ食堂**  
平市四丁目 電話二二三番

平田町(三丁目裏川岸通)  
**明雲堂眼科醫院**  
入院應需(自炊の便あり)  
電話 六六九番

命の御用は  
**三三三屋**  
自慢の良品も感も牛も  
「貯蓄は無盡で」  
無盡城  
婦看護  
急派の看護婦  
平

食 事  
喫 茶  
酒 場 兼 ね だ  
**サロ**  
平市銀座街  
電話 五九二番

内科、小兒科  
**大森醫院**  
醫學士 大森勇  
平市南町 電話二五八番

根本 婦人科醫院  
平市南町  
根本 莊次郎  
根本 貞雄  
(入院隨時)  
電話 三三四番

債券、公債  
兩替、金融  
**多田井質店**  
平市大工町 電話 五九一番

平病院 (平市元共濟病院跡)  
電話 六四一番  
院長 醫學博士 鈴木定藏  
副院長 鈴木定藏  
院長 高橋俊幸  
院長 鈴木定藏  
院長 吉本孝平

小兒科 院長 鈴木定藏  
皮膚泌尿科 院長 高橋俊幸  
物理療法科 院長 鈴木定藏  
藥劑科 部長 吉本孝平  
診療時間 毎日午前八時より午後九時まで  
夜間診療に從事す(急患は此の限りにあらず)